

〒 305-0821

KASUGA LIFE

KASUGA AREA  
STUDENT'S REPRESENTATIVE COUNCIL

TSUKUBA  
UNIVERSITY

Lifestyle magazine



# かすがらいふ

IMAGINE THE KASUGA

EDITION

SPRING

2024

FOR

HIGH SCHOOL



# ごあいさつ



## 情報メディア創成学類 学類長

情報メディア創成学類は2007年に創設されました。2011年3月に第1期生が卒業して以来、2023年3月までに804名が卒業しています。卒業生のうち約6割は大学院に進学し、それ以外の多くは就職をしています。起業した人もいます。進学先の多くは筑波大学大学院です。就職先は、民間企業では情報・通信系、ネットサービス系、メーカー系、交通系、エンターテインメント系など多岐に渡ります。学校や官公庁などに就職した人も一定数います。情報メディア創成学類の1学年の定員は50名です。3年次に編入生が加わることから、3、4年次には1学年が60人程度になります。これに対して（2024年2月現在）専任教員は31人在籍しています。1学年あたりで見ると、学生1.6~2人に対して教員が1人という比率の手厚い指導態勢を提供しています。

カリキュラムについては、基盤を理工学に置き、基礎となる数学やプログラミングの教育を充実させています。さらに、「ネットワーク（メディア）」と「コンテンツ（情報）」を支える技術に焦点を合わせていることが特徴です。これらを技術という観点でさらに細分化すると、映像メディアや音声メディアを扱う技術、人とコンピュータのインタラクション（対話）を支える技術、ネットワークに新たな価値を創成する技術、ネットワークメディア上で情報をうまく扱う（管理、共有、検索、発見する）技術、デジタルコンテンツを制作・表現する技術、計算処理をより速くより効率的に行う技術、人間を科学的に理解する技術などが含まれます。これらの技術分野とは異なる観点で、実践力を鍛えるためにグループワークや実習に重点を置き、産業界で活躍する方々を講師として招いて実施している「組み込み技術キャンパスOJT」や「enPiT（エンピット）」とよばれる科目なども用意しています。これらの科目を履修することで、それまでに学んだ知識や技術を実際に活用してみるだけでなく、目的のためにさらに必要な知識や技術を能動的に学ぶ、チームを編成してメンバーの知識や技術を効果的に活用するといった活動により、実践力を高めることができます。

私自身が大学を卒業してから40年経ちます。過去40年の情報技術の進化は驚異的で、社会の変化を速め、その質を向上させてきました。1980年代からはパソコンの普及が始まり、1990年代にはインターネットの商業利用が拡大しました。2000年代ではスマートフォンやソーシャルメディアの普及が急速に進み、2010年代ではAIやクラウドコンピューティングが台頭しました。2020年代に入ると、COVID-19の影響もあり、リモートワークやデジタルトランスフォーメーションが急速に進みました。そして今、さまざまなものがさらに急激に変化しています。今ある仕事がなくなるという暗い話も耳にします。しかしながら、なくなる仕事があれば、新しく生れる仕事もあるでしょう。今の仕事を効率化できる人もいれば、新たなビジネスを生み出す人もいるでしょう。変化を起す／変化に乗る／変化に抗

う／変化から距離を置くというような選択肢から、自分自身が意識して進む方向を決めていくことが重要でしょう。そのためには、変化を察知し、その本質を見極める力が必要です。

大学が変化の外にあるわけではありません。多くの分野でこれまでの教育が意味を成さなくなり、これまでとは違う教育が必要になる可能性があります。今まさにその岐路に立たされているのだと思います。受験を控えた高校生は、そのような状況において進路を選択するという岐路に立っています。そのような高校生に選択のためのアドバイスです。情報技術や知識を身につけたい人、情報技術で社会に変化を起したい人、変化に挑戦する仲間をつくりたい人、一つでもあてはまれば情報メディア創成学類への進学をお勧めします。

情報メディア創成学類長 三末和男

## 知識情報・図書館学類 学類長

皆さんは ChatGPT をご存知でしょうか。いえ、もちろんご存知のことと思います。質問したいことを ChatGPT に文章で入力すると、大抵もっともらしい回答を出力してくれますね。ChatGPT は大変便利な道具であり、日々の学習や調べ物などで活用されている方も多いのではないかと思います。

ChatGPT の中では GPT-3.5 や GPT-4 などの大規模言語モデル(LLM)が動作しており、ここで質問に対する回答を生成しています。LLM は GPT-3.5/4 のほか、グーグルの Gemini Pro や NTT の tsuzumi など様々なものが開発されていますが、いずれも大量のテキストデータを学習しています。回答を生成する際は、学習データに基づいて、確率的にもっともらしい単語の列を生成します。例えば、回答を生成していく中で「知識」という単語が出現したとしましょう。「知識」の次には「情報」という単語が出現する確率が高いから「情報」を出力しよう、というように、出現する確率の高い単語を選んで文を生成していきます（もっとも、LLM の中で「知識」の後に「情報」が出現する確率が本当に高いのかどうかは知る由もありませんが）。

LLM の学習には大量のテキストデータが用いられており、例えば GPT-3.5/4 の前身である GPT-3 は 570 ギガバイトものテキストデータを学習に使用しています。人間には記憶することが到底不可能な大量のデータから必要な情報を探して回答を生成してくれる LLM は、適切に使えば非常に強力な知的道具になります。とはいうものの、我々人間のあらゆる知的活動を LLM に任せてしまってよいのでしょうか。

もちろん、そうではないと考えます。LLM はその構造上、過去のデータからもっともらしい回答を生成することは得意ですが、過去の知識からだけでは発見が難しい新たな仮説や知識を生み出すことには不向きです。AI 技術が急速に進展しているこの時代、その技術の特性を理解しつつ、人や社会も含めた広い視野で新たな発想ができ、未知の問題を解決していくことのできる能力が重要です。このような時代を見据えて、知識情報・図書館学類は、文理の枠に囚われない文理融合型の教育研究を推進しており、その理念は昨年設定したスローガン

つなぐ - 知識、情報、人。

に体现されています。我々は知識、情報、人をつないで新たな知を創出し、次代を切り拓いていくことのできる人材を育成していきます。

知識情報・図書館学類は、教育研究だけでなく、入試にも新たな発想で取り組んでいます。推薦入試では、小論文に加えてビブリオバトル方式の面接を課しています。ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」キャッチコピーとして全国に広がっている本の紹介コミュニケーションゲームのことで、学校や大学、図書館、企業の研修や勉強会で広く活用されています。面接にビブリオバトル方式を採り入れるのは意外に思われるかもしれませんが、しかし、一般的な面接ではどんな話題で議論するか事前に知らされないことが多く、話題によっては実力を発揮できないこともあります。一方、ビブリオバトル方式では、自分の選んだ本で試験に臨むことができ、受験生一人一人に実力を発揮する機会があります。もちろん、使用する本は文系・理系を問いません。ご自分の好きな本とともに、ぜひ本学類の推薦入試にチャレンジしてみませんか。

知識情報・図書館学類は多彩な研究領域の教員を擁し、教職員によるきめ細やかな修学指導や、ラーニングコモンズでの学修支援なども充実しています。我々と共に学び、知識の力でAI時代を切り拓いていきましょう。

知識情報・図書館学類長 鈴木伸崇

# 目次



ごあいさつ.....	1
目次.....	5
大学編.....	6
年間行事.....	7
授業紹介.....	10
共通科目.....	11
情報学群の科目.....	13
知識の科目.....	15
klis の主専攻.....	17
創成の科目.....	18
合格体験記.....	19
mast 一般入試.....	20
mast 推薦入試.....	21
klis 一般入試.....	23
klis 推薦入試.....	24
klis AC 入試.....	25
大学説明会（知識）.....	26
生活編.....	27
宿舎編.....	28
アパート編.....	32
宅通編.....	34
奥付.....	36

# 大学編

## Campus Life

You must be thinking, "What is college like?" New environment, new friends, new subjects. There are full of anxiety and hope.

Take your first step into a world you have never seen before.

Don't worry. You have brave friends by your side.



What is at the University?

School calendar.

Shibainu  
Is  
Cute.

# 年間行事



(筆：Y)

## 入学式

この日から大学生活が始まります！管弦楽団の生演奏があったり、混声合唱団の披露があったりと盛り上がる式になります！永田学長の話はしっかり聞くこと！そして「IMAGINE THE FUTURE」はYouTubeでも聞くことができるので、何度も聞いて再生回数を皆で伸ばしましょう！

入学式後には学類ごとにオリエンテーションが行われます！最初は話を聞くだけで辛いかもしれませんが、今後の4年間に関わる様々な説明を聞くことになるので、しっかりと頭に入れましょう！どんなことを学ぼうかな、どんな生活を送ろうかな。そういったことを考えながら話を聞きましょう！

## 新歓本祭

各サークルや団体が準備をして新入生を歓迎する祭りが行われます！至る所でサークル紹介が行われていて、入学式の次に盛り上がるイベントです！気になるサークルがあったら行ってみてください！確実に良い体験になるはずです！

## スポーツ・デー

年に2回行われる、これまででいう体育祭のようなイベントです！でもただのスポーツ競技だけではなく、スポデー委員会が主催する様々な種目(サブゲーや気配切りなど)や、e-sportsといった幅広い種目で競うことができます！入学してからすぐにチーム提出の締切が来るので、早めに調べて申し込みましょう！

## やどかり祭

1年生が主体となって行う、ミニ学園祭！屋台を出す学類が多く、開催場所である追越宿舎付近はたくさんの人で賑わいます！また、屋台だけでなく、ゆかたパフォーマンスが行われるミスコン、通称「ゆかコン」が行われたり、神輿を作って運ぶイベントも行われます！このやどかり祭でカップルが成立する「やど祭マジック」が...なんて夢物語があったり...

## 夏季休業

春Cが終わってから約2ヵ月間の夏休み！高校生までの夏休みとは大きく違い、期間がとても長いです！実家に帰省したり、好きなことに没頭したり、無限バイトをしたり...。体調に気を付けながら何で



もやれる期間です！自由な生活を送りましょう！

## スポーツ・デー

年2回開催の2回目。春開催ではなかった競技が追加されたり、春と同様、いやそれ以上に盛り上がるイベントです！やったことない競技に参加してみるのもいいかもしれませんね！

## 雙峰祭(そうほうさい)

初見で読める人は凄いと思う名前な筑波大学の学園祭！11月に3日間にわたり、多くのサークルや団体が模擬店を出したり、ステージ企画で豪華ゲストを呼んだり、大学全体が一番盛り上がるイベントです！ここでも出店を出すことができるので、やりたい人は挑戦してみよう！

## 冬休み

12月末から1月の始めまでの短い休み。休みなんでしょうかこれは。というくらい短いです。とはいえ、実家に帰省してもいいし、ゆっくり休んでもいいし。つくばで年明けもいいかもしれませんね。

## 卒業式

3月下旬には学生生活で最後の行事の卒業式が行われます。院に行く人もいれば就職する人もいます。最後までにぎわう行事です。

## 春休み

秋Cが全て終わったら、冬休みよりはとて長い春休みがやってきます。気付いたらもう進級が間近。そんな時期です。次年度の時間割を組んでみたり、予習を試してみたり。自由にしつつ、来年が怖いなど思う。そんな時期でもあります。

## 閑話休題

---

### 【重要】ABC モジュールってなんだ？

筑波大学では、春秋の2区分に分け、さらにその中を3分割しています。春ABC、秋ABC。細かくいうと、夏休、春休があります。

基本的に次の通りに履修すると1単位です。

- ・AB モジュールで1時間ずつ。(例：春AB1限「〇〇概論」)
- ・A モジュールで2時間 (例：春A1・2限「〇〇入門」)
- ・集中講義二日間分

一部授業には例外があります (例：体育は通年1単位、英語はABCで1単位)

つまり、年6回期末試験 or 期末レポートがあります。

## 旧図書館情報大学

旧図書館情報大学時代はULiSでした。(Univercity of Library Sciences) こっちもUL「i」Sです。  
Wayback Machineなどで当時のホームページを見ると面白いですよ。

さらに、宿舎駐輪場付近の看板を見てみると、うっすら図書館情報大学と残っていたり、マンホールの文字を見てみると「図情大」と書かれていたり。春日エリア内の様々な物品をよく見てみると、当時の名残がかなり残っています。探してみてもいいかな？

## 略称について

筑波大学では各学類、さまざまな略称が用いられています。春日エリアの2学類は、

- ・情報メディア創成学類  
→「メ創」「創成」「mast (マスト)」
- ・知識情報・図書館学類  
→「知識」「図情 (とじょう)」「klis (ケーリス)」

と略されています。

mast は Media Arts, Science and Technology、klis は Knowledge and Library Sciences からとられています。

# 授業紹介

## Subjects

There are many fruits in front of you.

If you had to choose one of them, which one would you choose?

I will: I take all of them.



How the subject.

Common subject. Klis subject. Mast subject..

Bird  
Is  
Cute.

# 共通科目



大学が設定している共通科目を紹介します。必修科目が多いのでミスなく履修してくださいね！

## ファーストイヤーセミナー

知識では、対面での解説、実習講義とレポート課題によって構成されています。全ての課題を提出さえしていれば単位を落とすことはなく、また「P/F 科目」であるため成績を気にする必要もありません。内容自体は大学生活をする上で有益となる情報に溢れているので、全ての回の出席をお勧めします。特に教科書の『思考を鍛えるレポート・論文作成法[第3版]』(井上千似子,2020)は後述の「アカデミックスキルズ」や他の授業でのレポート作成に必須のアイテムになります。

創成では、学校設備の使い方を学んだり、自己紹介などをしたりする、授業というよりオリエンテーションの要素がある授業です。創成らしさ、を感じる授業かもしれませんね！（Sさん）

## 学問への誘い

筑波大学の各学類を知るために用意された十数本の動画と、それに対してのレポート課題によって構成されています。全ての課題を終わらせるためには時間がかかるので、計画的に進めることを強くおすすめします(なお、必修ですが、希に落単する人もいますか)。(Sさん)

## アカデミックスキルズ

ファーストイヤーセミナーに続く科目で、レポート及びプレゼンテーションに関する実践的な解説とそれらの実習からなります。前半の最終課題(レポート)と後半の最終課題(プレゼンテーション)の提出は必須です。(Sさん)

## 基礎体育

「起きねば。」必修の講義で、単位を落とすと次年度に年間を通して再履修しなければなりません。出席回数には気を付けましょう。また、体育センター (<https://www.sapcc.tsukuba.ac.jp/>)独自の科目抽選があるため、他の科目とは履修登録の方法が異なります。オリエンテーションでの説明をよく聞いておいてください。(Sさん)

## 英語

「English Reading Skills (ERS)」と「English Presentation Skills (EPS)」の2科目が春ABCと秋ABCに1単位ずつ開講され、合計4単位の必修になっています。3モジュールで1単位なので他の授業に比べて少し大変です。ガンバリマシヨウ。(Sさん)

### 情報リテラシー(演習)

対面での実習型講義で、各回にレポートがあります。講義資料を確認しながら課題を解いていけば単位は取れるでしょう。ただ、より良い成績を取るためには最終課題のプレゼンテーションで十分な評価を得る必要があるので、練習を沢山して取り組みましょう。(Sさん)

### 情報リテラシー(講義)

講義動画と各回の小テスト、レポート課題からなります。小テストは易しく、レポート課題も他の講義に比べれば手早く終わらせることができますと思いますが、講義内容は情報学群として役立つものばかりです。(Sさん)

### データサイエンス

対面での解説講義と Excel での実習課題があります。内容は Excel を用いたデータ分析で、かなり有益です。自身のペースで進めることができますし、理解が追い付かなくても教授や TA、友人に助けを求めれば大体解決できるでしょう。(Sさん)

### 初修外国語(第二外国語)

必修ではないので無理に受ける必要はありません。多くの言語で毎週の課題と講義内容の理解が求められ、期末試験の対策も必要です。また、授業内容は教授次第なので当たり外れもありえます。なお、履修してきちんと単位を取っている人もそこそこいて、友達ができるきっかけになったりもするので、興味があれば受講してみるといいと思います。(Sさん)

# 情報学群の科目



情報学群で共通している授業がたくさんあります。私たちは選択必修です。全て取る必要はないのですが、どれもこれも面白い授業なので取ることをお勧めします！

## 情報科学概論

情報科学類について知ることができる授業です。講義動画と各回の小テスト、期末テストによって構成されています。各回異なる情報科学類の教授が、専門の情報技術に関する基礎知識とその研究開発の状況を教えてくれます。小テストも期末テストも難易度は高くありません。(Sさん)

## 知識情報システム概説

知識情報・図書館学類について知ることができる授業です。「情報」と聞いてイメージするプログラミング的な情報科学だけではないのだ、ということがわかります。今世の中で使われているウェブがどうやって作り上げられたのか……そんなことを垣間見ることができます！(Iさん)

## 情報メディア入門

情報メディア創成学類について知ることができる授業です。現代の最新技術によってもたらされるメディアをオムニバス形式で解説していただきます。(Iさん)

## 知能と情報科学

「〇〇と情報科学」シリーズは相性が悪いと感じる人もいるようです。オンデマンド講義で、講義3～4回ごとにword形式で3ページ程度のまとめレポートを提出します。講義内容は専門的で難解なものもあり、理解するために時間がかかることも。(Sさん)

## 計算と情報科学

オンデマンド講義で、各回の小テストと、自分が興味を持った回についてのレポート課題が2回あります。アルゴリズムなどのパズル的な思考が好きな人は楽しめると思います。(Mさん)

### システムと情報科学

オンデマンド講義で、各回に小テストがあります。暗号システムなど、計算アルゴリズムをより具体的に使う場面を扱う授業です。(Iさん)

### 図書館概論

解説動画と各回のレポート課題によって構成されています。内容は世界中の様々な図書館の紹介や、図書館に関する取り決めや法律の解説である。この講義を受ければ如何にデンマークの図書館形態が素晴らしいか理解することができるでしょう。(Sさん)

### コンテンツ入門

全10回の授業で昨年の後半の5回は、落合陽一先生が担当していました。先生が毎週招く講師の授業を受講するという方式で、出席確認はツイートですという形式になっています。昨年は1授業につき40ツイート必要でした。(Yさん)

# 知識の科目



「知識情報・図書館学類」ってなんだか何やっているかわからない……と言われがちです。自信を持って回答できる知識生を目指しましょう！

まずは必修科目から

## 知識情報概論

講義動画と小テストに加え、期末テストがあります。図書館情報学、及び知識情報学を学ぶ上で必要な要素を非常に分かりやすく解説してもらえます。大半の人が満点を取るため、少しでも点を落とすと成績が下がりやすいです。また、期末テストが1限だったので寝坊して単位を落とした人がいました。(Sさん)

## 情報数学 A

対面講義で、各回の小テストと期末テストがあります。情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ講義で、高校の数学 A を彷彿とさせる内容が多いです。初歩から解説が始まるため、数学が苦手な人でも毎回の復習を忘れなければ講義内容についていけるはずです。期末テストは記述形式で、頑張って答案用紙を埋めましょう (Sさん)

## プログラミング入門 A,B

対面講義と各回の課題、期末テスト(Aのみ)からなる、Python の基本的な扱い方について学習する授業です。「Jupyter notebook」というものを使いますが、実習室や図書館のパソコンを使う場合は心配いりません。また、講義で分からない部分があっても TA がアシストしてくれるためプログラミングに触れたことがなくても大丈夫です。毎回のプログラミング課題を全て提出し、期末テストでそれなりの点数を取れば単位を落とすことはないです。

コピペ、ダメ、ゼッタイ。(Sさん)



知識では線形代数・微積分は必修ではありませんが、数学が苦手な人であっても十分ついていけるように、先生が手厚く保護してくれています。「高校まで苦手だったけど、高校まで文系だったけど、ちょっとやってみようかな」でも大丈夫。数学の世界に飛び込んでみよう。

#### 線形代数 A

対面講義と各回の課題、期末テストで構成されています。昨年度は非常にユニークな教授が担当していたため、講義内容は他の数学の講義とはひと味違ったものとなり、苦勞する学生もいたようです。教科書、数学に強い友達、先輩など、頼れるものはすべて頼って攻略してください。期末テストは記述方式で、計算式の解を出せるだけでは得点できない問題もあります。教授の板書は記述のヒントに溢れているので、きちんと出席して理解を深めてください。(Sさん)

#### 微分積分 A

対面授業で、中間・期末レポートと期末試験があります。文系でも履修できるように初歩的な説明からスタートします。5回目の授業くらいでやっと微分します。その反面、終盤の積分分野は駆け足になりますが、試験でのウエイトはあまりないのでなんとか耐えられると思います。数Ⅲを履修した人にとっては、記法が変わるだけで新しい内容はあまりないので、ぜひ積極的に周りに手を差し伸べてください。(Mさん)

# klis の主専攻



klis には 3 つの主専攻があり、3 年次から分かれてその主専攻分野について専門的に学びます。(mast は主専攻に分かれることはありません)。主専攻には「知識科学主専攻」「知識情報システム主専攻」「情報資源経営主専攻」があります。

## 知識科学主専攻

---

「人間」に注目する主専攻です。知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用について学びます。この主専攻では、知識の本質や、人間の知識獲得のあり方などの人文社会的なものから、データ分析・知識の探索技術などの理工学的なもの、幅広い分野を研究対象としています。

## 知識情報システム主専攻

---

「情報技術」に注目する主専攻です。知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用について学びます。この主専攻では、プログラミングについての演習が充実しており、知識や情報を共有・活用するにあたっての技術を十分に学べます。さらに、知識情報の共有や、データベース、情報検索、デジタルライブラリといった様々な知識情報システムについて学び、研究ができます。

## 情報資源経営主専攻

---

「社会」に注目する主専攻です。知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネジメントに関する理論と応用について学びます。なお増え続ける情報を蓄積・整理し提供するにはどうすれば良いのか、適切にかつ有効に利用するにはどうすれば良いのかを研究します。いわゆる、最も「図書館らしい」研究をするのはこの専攻と言えます。

# 創成の科目



メディア創成のエリート学生はここから生まれてくるのだ……  
まずは必修科目から。

## 情報数学 A

論理、集合、写像などについて、学んでいきます。計算というより証明問題が多く、またパズル的な要素もあるため、苦手な人は積極的に先生に質問するなどして単位を落とさないように注意しましょう。  
(Yさん)

## 線形代数 A

もっとも単位を落とす学生が多い科目です。ベクトル、行列の計算は慣れるまではとても大変なので頑張らしましょう。ヨビノリを見て授業に臨む人が多い印象です。(Yさん)

## 微分積分 A

高校の数Ⅲ分野の発展を学びます。(Yさん)

## プログラミング入門 A・B

Python を学びます。まったくプログラミングの知識がない人でも授業にはついていけるので心配はいりません。私たちの代の授業では、教室内でわからないひとがわかる人に質問できるような状況が整っていました。今年も同様だと思うので、授業には出るようにしましょう。(Yさん)

知識も創成にも言えることですが、一年のうちには必修科目が少ないです。その反面、選択必修が多いので積極的に取る必要があります。よくシラバスを見て、十分に単位を取り切れる履修を組みましょう。

# 合格体験記

## Exam essay

Exam is just exam. Not goal.

What do you want to do in the future?

Do your best, but do not try too hard.

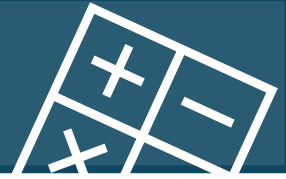


What was I thinking under the exam.

The essays about the exam.

Whale  
Is  
Cute.

# 合格体験記



## mast 一般入試

### 志望動機

スマホゲームとドラマ、子供向け玩具などが好きだったので、そのような方向性で勉強出来る大学でレベルが高く、関東圏というと、筑波大学の情報メディア創成学類と某私立大しかない、ということでその2大学を志望校としていました。

### 受験対策

いわゆる自称進学校に通っていたので、逆にいえば真面目に授業に取り組み、課題をやり、講習を取れば、筑波大学は異常に難しい応用問題は無いので、だいたい解けるようになりました。数学だけは1年生の頃から危機感があったので個別指導塾に通っていましたが、ほかは特に何もしなかったです。学校が中高一貫だったのもあり、英語教育に力が入っていたので、自然に得意科目は英語と数学になり、創成の二次試験に有利でした。共通テスト対策としては、直前期に学校で配られた過去問を真面目にやる、加えて地理・物理・化学は対策問題集を1周やりました。(確かそれぞれ5,6回分くらい)日々課題をやるにも自主学習をするにも、テストや模試の復習をするにしろ、完璧に理解して終わることを怠らなければ力はずくとおもいます。

### おわりに

正直、私は一所懸命に受験勉強した側の人間ではないため、大したことは言えないのですが、どこを志望するにしろ、自分に足りないものを見極め、それを補填するための勉強の取捨選択をしっかりとやることが重要だと思います。ぜひ合格してつくばで会いましょう。応援しています。

## mast 推薦入試

### 志望校決定について

高校入学時には、何となく理系がいいと思っていたものの、なりたい職業ややりたい学問は特にありませんでした。しかし情報の授業がきっかけでプログラミングに興味を持ち、大学を探す時は情報学をしっかり学べることをポイントとして探しました。小さな頃から絵を描いたり物作りをするのが好きで、音楽もゲームも好きだったのでそれをソフトウェアの視点から生かせるような所がいいなと思っていたので、メ創はぴったりだと思いました。日常社会で必要なことを便利にするシステムや UI を作ったり、多くの人に感動を与えるクリエイティブなゲームを作ったりしてみたいと、ふわっと考えていました。今、しっかりとした職業が決まっていなくても、こういった日常の些細なことで、「面白い」「楽しい」と思ったことを心に留めておくと、自分がやりたい学問や行きたい学科を見つけやすいと思います。私は特に研究活動をしていたとか、コンテストで賞を取ったとか、そういう実績は持っていなかったのですが、推薦入試は厳しいのではと思っていたのですが、内申点がかなり良かったので受けることにしました。

### 推薦入試を受けるまで

決断が早ければ、夏休みから対策をすることも出来ますが、私は推薦入試を受けるか迷っていて夏休みは一般入試に向けた勉強しかしませんでした。夏休みが明けると受験に向けて一気に動き始めるので、忙しくなります。出願の時期は大体10月下旬からになるので、そこまでに資料や志望理由書を揃えます。面接の対策は、試験の3週間前くらいに本格的に始めました。それと並行して筆記試験対策を過去問で行っていました。4年分くらい解きました。具体的な面接対策については、高校側で面接練習の日程を組んでくれたのですが、私はそれだけではなく、個人的に他の先生に面接練習をしてもらっていました。このことがかなり効果があったと思います。色々な先生に練習してもらい、様々な意見を貰ったことで、話す内容を改善し、自分の受け答えをよりよく出来ました。聞かれそうな質問をノートにまとめ、数学の先生に口頭試問を出してもらって黒板で説明する練習もしました。11月から本番まではひたすら面接で話す内容を覚えていたので、勉強は授業以外ではあまり出来ませんでした。決断するのがもう少し早ければ落ち着いて対策出来たのかなと思っています。

### 当日の簡単な流れ

まずは筆記試験が行われました。知識というよりは問題を解決する思考力を問うもので、数学の論理問題が英語で出題されるようなイメージです。過去問を見れば傾向が分かると思います。筆記試験の後に昼休憩があり、その後面接があります。順番が後ろだと待ち時間がかなり長いです(最後だと3時間位待ちます)。その間、口頭試問や予想される質問を書いたノートをひたすら見返していました。本番の面接試験では、突飛なことは聞かれず、面接練習をしっかりしていれば対応出来る感じでしたが、ものすごく緊張しました。面接官は3人で、志望理由や志望理由に対する質問、高校での活動についての質問、大学でやりたいことなどを聞かれました。口頭試問では、紙に2問の数学の大問が書いてあり、そこから1つ選んで、考え方・方針と答えを面接官に説明しました。私の場合、二次関数とベクトルの問題があり、ベクトルを選びました。最後まで解き終わらなくても、方針を説明して、問題に答える努力をすることが大切だと思います。実際に私も最後の問題を解き終わりませんでした。黒板の使用が可能でした。筆記試験も口頭試問も非常に難しいわけではないので、しっかり対策すれば大丈夫です。

### メンタル面について

これは人にもよると思うのですが、私は面接にとっても苦手意識を感じていたので、受験期間はかなり辛かったです。それに加えて周りのみんなが共通テスト対策をやっている中で自分だけ面接や小論文のことを考えなくてはならないことで、周りとの遅れを感じたりしました。しかし受かった時は本当に嬉しかったし、やって良かったと思いました。合格後の時間に余裕があるのもいいと思いました。全力で取り組んだから受かったんだと思います。

さいごに

私は推薦入試で正直受からないと思っていたので驚きました。出願するか迷いましたが、推薦入試はあくまで一つのチャンスと捉え、「受ければラッキー、でもやるからには全力でやる！」という思いで思い切って出願し、対策に取り組みました。最後に一つ伝えたいのは、筑波大学を受験する人は当日までに会場までの道のりを確認すべきということです。筑波大学は広く、初めて来る人にとってはもはやダンジョンなので、下見をするのがいいと思います。この体験記で、皆さんの志望校合格への一つの選択肢として推薦入試について知ってもらえれば幸いです。これからの受験の参考になると嬉しいです。頑張ってください！

## klis 一般入試

私は一般入試後期日程で知識情報・図書館学類に合格しました。受験生の皆さんに向けて、私がどのように受験の対策をしていたのか記していこうと思います。

私が受験のときは、共通テスト1次試験が900点と一般入試後期日程個別試験の小論文が200点の合計1100点満点でした。自分は理科2科目と地理Bを含む理系科目で共通テストを受験し、結果は693点。正直言って一般的に後期で筑波大学を受験するには低すぎる点数です。そう、実を言うと私は個別試験の小論文で170点をたたき出し逆転合格に成功したのです。

そもそも私は知識学類の併願として、小論文が課される別の大学学部を受験しようとしていました。そのため、高校3年生の夏頃から小論文の対策を長期間に渡って行うことができていました。知識学類を含む受験校の小論文をまずは時間を計って解き、高校の先生に添削してもらい客観的に見た欠点を洗い出しました。先生にはほぼ1週間に1本以上小論文の添削をしていただき感謝しかありません。その後は満足がいくまで何度も解き直しました。そこで何よりも参考にしたのは過去問題集の模範解答です。当たり前ですが問題集の模範解答レベルの文章を入試本番で書けたらほぼ満点です。どのような観点に着目していたのか、文章の構成はどうかなど暗記するほどに何度も読み返して研究しました。こうして本番では、時間も少ない中落ち着いてよく考えながら解答を作成できたと思います。

筑波大学の後期入試は共通テストと小論文の組み合わせが多く、どこも共通テストの割合が非常に高いです。共通テストで勝負がつくと思われがちですが、実は小論文でもかなり点差が開き合否に大きな影響を与えます。これを読んでくれる受験生も、あまり共通テストの点数に左右されず自信を持って知識学類に出願してくれると嬉しいです。



## klis 推薦入試

僕はこの知識情報・図書館学類に学校推薦型で入学しました。

本当なら体験記を書き始めるのですが、この学類の特殊な学校推薦型入試の方式からお伝えしようと思います。まず出願要件ですが、基本的には4.0の評定が必要なのですが、なんと！場合によっては評定を満たしていなくても大丈夫なんです！

たとえば評定は高くないけど学力には自信があるぜ！って人や、知識や情報に関しての実績があるぜ！って人は出願が可能です。特に前者がおすすめです。次に入試は小論文とビブリオバトルです。ビブリオバトルとはなんぞやという人のために説明すると、少人数（3～6人ぐらい）で本を持ち寄って5分間の発表と3分間の質疑応答、ディスカッションをそれぞれ行います。そして、グループ全員の発表とディスカッションが終了後、「どの本が一番読みたくなったか？」という投票を行いチャンプ本を決めます。ビブリオバトルの様子に関しては動画を検索するのが良いと思います。というわけでまとめると、受験に必要なのは、出願要件、小論文対策、ビブリオバトル対策です。

それでは本題、合格体験記を書いていきます。

僕の場合は入試の約1か月前から準備を行いました。小論文は現代文と英語の2つのパートに分かれていることが多くそれぞれ対策をしました。現代文と英語の先生にそれぞれの過去問と一緒に解いてもらいました。というのもこの学類の問題は過去問に回答が載っていないことが多いです。できるだけ先生を頼ることをお勧めします。そのほかにできる対策としては、地道なもの、単語帳で英単語を覚える、過去問の傾向から複数回出されている内容を調べておくことなどがあるので余裕があればぜひやっておきたいところです。ちなみに現在の傾向としては計算問題が少し入っている代わりに全体的な難易度は低下していると感じています。文章題から多面的な問題が出題されている感じです。ビブリオバトルは特に対策をしました。本番で換えがききづらいからです。ここでも色々な人に頼りました。自己推薦で先に受験が終わった友人などを集めて自分の発表を聞いてもらいできるだけ回答しづらい質問をしてもらうようにして自分の発表を練っていきました。実際にこの方法は有効で、本番の質問よりも友人たちの質問の方が厳しく答えづらいものでした。（僕の友人たちに変人が多かっただけかもしれませんが……）

ビブリオバトルの対策をする上でとても重要なルールをお伝えします。それは他の発表者の本や発表を貶めるような発言はしないことです。入試の対策は以上になります。最後に当日の動きです。

1つ、早めに行動して遅刻しないようにしましょう。僕はギリギリでとても焦りました。

2つ、持ち物はしっかり確認しましょう。僕は時計を忘れました。

以上この合格体験記を参考にする意味があるのかわかりませんが受験をしようと思っているのならば応援しています。

## klis AC 入試

はじめに

2023 年度入試のアドミッションセンター入試（以下、AC 入試）で知識情報・図書館学類に合格した者です。「知識情報・図書館学類を受験したい!」、「AC 入試が気になる」といった方向けに、幣学類の AC 入試について実体験を踏まえて記しました。少しでも受験生の助力になれば嬉しいです。

### 第 1 次選考（志願理由書・自己推薦書）

第 1 次選考では、まず志願理由書と自己推薦書を提出します。この段階で、半分以下になるため、かなり力を入れる必要があります。志願理由書は、推薦入試や一般的な他大学の志望理由書と形式が同じものなので、自己推薦書について記します。

自己推薦書は、「本文は様式・枚数自由」となっており、自由度が非常に高いことが特徴です。量がすべてではないですが、私自身約 30 枚（40,000 字程度）を書いたためある程度のボリュームとクオリティは求められます。ただ、同期の中には 10,000 字程度の人もあるので、内容重視には変わりありません。

内容については、社会的課題を発見・分析・解決する能力が求められており、私は「新規性・独自性・継続性」の 3 点が重要であると考えています。あまりにも短期的な内容は、受験のために始めたようにも捉えられますし、（本当に続けるかは置いておいて）大学入学後にその研究をある程度続ける意欲を伝えることが難しくなります。また、実績に伴っている必要はありません。私自身、活動が新聞に取り上げられたことはありますが、受賞歴も資格もなにもありませんでした。学習意欲・熱量が感じられる文章を書けるよう、ぜひ推敲を重ねて時間をかけて書き上げてください!

自己推薦書については「AC 入試レポート集（筑波大学アドミッションセンター）」から合格者のものが一部見られるので、参考にしてみてください。

### 第 2 次選考（面接）

第 2 次選考では、実際に筑波大学に出向いて、自分が志望理由書に記した教授やその分野に精通している大学教授 3 人と 30 分程度面接します。時期は第 1 次選考の合格発表から約 2 週間後のため、対策する時間が限られます。面接では、とにかく第 1 次選考で提出した書類について、たくさん質問されるのでそれに答えましょう。先生方は受験生のことを知りたくて質問してくださるので変に身構える必要はありません。自分について、研究への熱量や知識情報・図書館学類に入学したい強い意志を全力でぶつけましょう。楽しめたもの勝ちです。

AC 入試は自分のスキルアップや成長につながる入試方式です。準備は正直かなり大変だと思いますが、興味がある人はぜひ挑んでみてください!

# 大学説明会（知識）



（筆：N）

## 大学説明会

春と夏の二回、オンラインや春日エリアでの対面で高校生に向けて大学入試や大学生活についての話をするものです。毎年学群生が主導して行っています。学生による Student talk、推薦入試当日と同様の形式での模擬ビブリオバトル体験、個別に大学生に相談できる学生相談も行っています。

YouTube ( <https://www.youtube.com/@user-iu5ld3dj8q> ) に学類紹介動画や昨年度の説明会の動画をアップロードしているので、ぜひご覧ください。今年も知識情報・図書館学類大学説明会では、みなさんが有益な情報を手に入れることが出来るように準備してまいります。知識情報・図書館学類を志望している方はもちろん、志望校をまだ決めかねている方や、どんなことをしているか興味がある方も、ぜひご参加ください。今年の説明会の情報は Twitter(@klisdaisetsu)で発信していく予定なのでぜひチェックしてみてください。

# 生活編

## Lifestyle

Living is difficult. But don't be discouraged.

Life is more fun than you can imagine.

No matter how hard the path you are on.



How the housing. | How the Tsukuba life.

How-to live-in Tsukuba.

Cat  
Is  
Cute.

# 宿舎編



(筆：Y)

こんにちは。宿舎編では筆者が住む春日学生宿舎について紹介します。様々な評価がある筑波大学学生宿舎ですが、ほかの平砂・追越・一の矢の宿舎よりもはるかに「住めば都」になる可能性が高い宿舎じゃないかな、と思います。ちなみに筆者は二年次も引き続き居住します。(住んでいるのは1号棟なので2号棟は若干異なるかもしれません)

## 春日学生宿舎基本情報

### 宿舎

1号棟と2号棟があり、それぞれ女子と男子が住んでいます。どちらも5階建てでエレベーターはありません。1階には共同浴場とコインシャワー、1号棟は管理人室、2号棟には寝具取扱所があります。各階にトイレ・洗面台、キッチン(補食室)、洗濯機があります。ちなみにほかのエリアの宿舎は全フロアに上記の設備がそろっていることは珍しいので階をまたぐ移動が少ないのもちょっとした長所なのではないでしょうか。

### アクセス

春日エリアの最北部に位置しています。日常生活を送る分には全てにおいて15分程度で周回できるほどで移動が可能です。駅から歩いて15分弱と最も駅チカな宿舎です。自転車を使えば、授業で使う教室では最も遠いであろう第三エリアまででも同様です。駅に近いことから、ロピア(トナリエにあるの多くて安いスーパー)やイーアス(大型ショッピングモール)へのアクセスも悪くないです。

これは余談なのですが、筆者が所属する馬術部の活動場所は一の矢学生宿舎からさらに東大通りをまたいだ外れにあるため、そこへのアクセスは最悪です。自転車を本気でこいで20分強かかります。

### 家賃

この記事執筆している、2024年2月時点で、春日学生宿舎の家賃は月19,615円(保証金:3万円、清掃費7,700円)です。気になってSUUMOで検索してみたところ、つくば駅徒歩15分圏内アパートの家賃は最低でも月2.5万以上はするので、破格ですね。(狭い、共用部はあるけど…)光熱費は部屋の電気代のみで、しかも基本料金は大学が払ってくれるため、アパートよりもだいぶ安くなります。3か月ごとの請求で、夏はクーラーを使うため7000円を超えましたが、ほかの時期

は4000円程度です。冬は全棟一括のヒーター（部屋にもよるが暑いレベル）がつくため、エアコンはほぼ必要ありません。（小型ヒーターぐらい）

ここから先の項目では実際に筆者の宿舎に住む or 住んでいた友人から聞いたことを含みます。

## 宿舎の長所と短所

### 長所:

- ・ **お金**

家賃がとにかく安く、水道代・ガス代はありません

- ・ **掃除は自分の部屋のみ！**

水回り・キッチン、トイレの掃除をしなくてよし、シーツ交換あり、ゴミは曜日関係なくいつでも捨てられます

- ・ **友達がすぐ近くにいる！**

友達でしやすい、学類の宿舎民と色々助け合える（虫退治とか）、いつでも友達の部屋凸れる！

### 短所:

- ・ **トイレが臭い汚い**

階によるかも。私は気になりませんでした。

- ・ **虫**

トイレ廊下にカメムシ大量発生（カメムシ自体は年中いる）、夏は外の蝉がうるさい、5階だからかGは見たことありません。

- ・ **狭い！**

狭いからベッドの上しか足伸ばせない、友達大人数呼べない

- ・ **料理が一苦勞**

料理に使うものをキッチンまで運ぶのがかなり面倒くさいです

- ・ **隣人は運ゲー**

夜にうるさくする人だと結構きついかもしれない…

- ・ **洗濯機にお金かかる、高い**

去年洗濯機は一回100円から200円に値上がりしました泣。

- ・ **隣の部屋の音が聞こえる**

結構壁薄いです…

- ・ **エレベーターがない**

- ・ **宅配で毎回電話で呼び出されるのがめんどくさい**

## 春日宿舎の長所と短所

### 長所:

- ・お風呂がある！  
2日に1回だけお風呂にお湯が張られ、17時～22時なら無料で入れます
- ・駅近
- ・靴箱があって廊下が汚くない
- ・2年生から教室が近い、春キャンの授業近い
- ・治安がいい（鍵別に開けていても大丈夫 XD）
- ・ベランダある

### 短所:

- ・春日地区から本学への移動が辛すぎる、1年次に受ける授業の教室が遠い
- ・サークルが夜まで練習あったり夜バイトあると風呂入れない&風呂閉まった後の時間シャワー激混みで普通に12時1時まで空かないことザラにある
- ・部屋に洗面台がない  
春日だけありません。

## 宿舎で必須/便利なグッズ

### 必須:

- ・虫対策  
苦手な人は必須
- ・電子レンジ・冷蔵庫・炊飯器  
特に炊飯器はいろんな料理に使えるので良き
- ・洋服入れるタンスとか衣装ケース  
収納は皆無なので必須
- ・カゴ  
共用部に私物を置けないので、風呂、キッチン、洗濯すべてにおいて要ります
- ・クーラー  
つくばの夏と冬は厳しいです

### 便利:

- ・ちっちゃい加湿器
- ・100円玉は集めとく！
- ・突っ張り棒

- ・ベッドライト

ベッドからスイッチが遠いのであると QOL 上がります

- ・靴箱的なもの

- ・薄い布団

備え付けの布団が暑すぎるときは薄いの 1 枚、寒い夜は重ねるとよい。

## コメント

- ・一回住んでみるのもアリ！

・春日宿舎は監獄！！って感じじゃないので全然住める。つくばの土地勘付くまで宿舎でその後宿舎出るのがオススメ。私がそれで家選ぶ時にサークルの活動場所と授業の場所買い物、駅からの距離とかを考えて家選べたのはよかったかなあ。ほぼ毎日夜 22 時までに帰って来られない人間はシャワー代毎日 100 円かかるし、帰り周りに気を遣いながら廊下を歩かないといけないし、って感じで向いてないかも。後 pc ゲーとかテレビおいてゲームするのも向いてないですかね、壁薄いのでゲームしながら通話できない（白熱してうるさくなるので）です。後友達呼べないから基本友達の家に行く（大体友達の家遠いこと多い）のがめんどろくさいかもしれない。

## 終わりに

上記のコメントにもあるように、宿舎はまず住んでみて、友達作りや慣れない土地・初めての一人暮らしの慣らしに最適だと思います。特に金銭的な制約がなければ、始めは宿舎、あとから一人暮らしするのがいいでしょう。また、週末は実家で過ごすなど、実家に帰る頻度が高い人にもおすすめです。

（実際筆者もそのつもりだった）宿舎にこだわって住むなら、申請すれば 2 年間は確実に住み続けることができます。他学類の先輩には一般単身→一の矢二人室単身利用の人もいます。（抽選あるらしいけど）二人室は一度だけ入ったことがあるのですが、かなり広くて、キッチン・トイレも部屋に備え付けであるので、家賃月 2.5 万以下・電気代少ない、というかなり良い物件です。ほかのキッチン・トイレ・風呂備え付けの宿舎は基本的に留学生向けなのですが、追越南は院生向けの部屋があります。（つまり学群生は無理泣）

宿舎入居を決めた皆さん、初めての一人暮らし・学生生活をぜひ謳歌してくださいね。監獄だの言われている弊学宿舎ですが、きっと良い思い出になるはずですよ。



# アパート編



(筆：Y)

## アパート選びについて

### 1.家賃

親御さんとよくご相談して決めてください。

余談ですが、僕の家は家賃 42,000 円で、周りにも 40,000 円前後の方が多いです。

### 2.立地

僕（創成 2 年）の個人的おすすめの前立地は春日 3 丁目、4 丁目、および天久保 2 丁目です。その理由は、大学やスーパー、ショッピングモール、飲食店など、様々な施設との距離が均等に近いからです。現在は春日 2 丁目に住んでいますが、つくば駅や筑波大学春日キャンパスに近いのはメリットですが、それらの施設はあまり頻繁に利用せず、特に 1 年生の授業では主に第一エリアが使われることが多いです。また、自宅から第一エリアまでの距離もかなり離れています。そのため、第一エリアとも距離が比較的近く、また他の商業施設とも近い春日 3 丁目、4 丁目と天久保 2 丁目をおすすめしています。また、所属するサークルや団体の活動場所と家が近いことも大事なので、興味がある団体の活動場所を事前に SNS などで調べておくといいかもしれません。

### 3.間取り

僕のおすすめは 1 K です。主なメリットは、

1.キッチンスペースが広く、自炊がしやすい

2.掃除が比較的容易である

3.家賃や光熱費を抑えられる

などが挙げられます。また個人的には、独立洗面台があると朝のセットをスムーズに行えるのでおすすめです。

## 一人暮らしで気を付けること

### 1.ゴミ出しはルールを守って！

ゴミの種類によって回収される日時が決まっています。ルールを守らないと悪臭などのトラブルになりかねないので、気を付けましょう。また、ごみを捨てる際は、個人情報の流出にも気を付けましょう。

### 2.換気は定期的！！

料理しているときや、お風呂に入り終えた後や、洗濯物を部屋干ししているときは、こまめに喚起をするようにしましょう。部屋の天井などにカビが生える原因になります。張替え工事をするようになった場合、非常に手間がかかることになるため気を付けましょう。

### 3.深夜に騒ぐのは厳禁！盛り上がるのもほどほどに...

深夜の大声での電話や会話は近隣住民に多大な迷惑とストレスを与えます。人の話し声は案外ほかの部屋まで響いてしまうので、遊ぶときは節度を持って、気を付けてお過ごしください。

最後になりましたが、初めての一人暮らしで慣れないことに疲れてしまうことも多いかと思いますが、学ぶことも楽しいこともきっとたくさんあるはずです。新天地で皆さんが送る生活が、実り多いものになることを願っています。

# 宅通編



(筆：A)

この項目を読んでいる人が気にしているのは、自分が宅通しても大丈夫なのか、宅通のメリット・デメリット、宅通が知っておくべきことあたりではないかと思ったので、そこに焦点を絞って書いてみます。

## QOL を下げずに宅通になれる条件

これは友人の受け売りですが、宅通になってもそれほどQOLが下がらない人は、大体この二つの条件を満たしているのではないかと考えています。一つ目は自宅からの移動時間が短いこと。二つ目は門限がないことです。

一つ目についてですが、自宅から大学の講義室に移動する時間が片道で1時間半を切っているなら宅通を考えても良いと思います。通学時間が1時間半の場合、1限の授業が8時40分からなので、7時10分には出なくてはならず、前日に準備していれば6時起床でも間に合います。これくらいの起床時間であれば、高校時代とそれほど変わらないくらいで済むのではないかと思います。

二つ目の門限がないということに関してですが、まず前提として筑波住みのほとんどの筑波大生は夜中の活動時間が長いです。そのため筑波住みの友人と遊んだり、9時のサークル終了後にご飯を食べに行ったりすると、ほぼ終電で帰ることになります。例えば最終の電車が23時だったとして、そこから1時間移動したら0時になってしまいます。もし0時に帰ってくることを咎められるような家であったら、友人と遊ぶことやサークルの食事会を断念せざるを得なくなるかもしれません。

もちろん、この二つの条件を満たしていなくても、1限の授業に間に合う距離に自宅があれば理論上は宅通することはできますし、サークルの食事会等に行かなくても良いという場合は二つ目の条件は関係ないです。あくまで、宅通じゃない人と同じ行動をする上で、QOLを下げずに宅通ができるギリギリの条件がこれではないかと私は考えています。

## 宅通のメリット

- ・地元の友人と遊びやすく、学期中の土日でも遊べる。
- ・電車通学の場合、定期で流山おおたかの森やららぼーと柏の葉に行きやすいので、そこで映画を見たり、美味しいものを食べたりできる（※ただし他に電車通学仲間がいなければ1人でということになる）（ららぼーと柏の葉のフードコートにある「あじフライ神楽坂さくら」がおすすめです）
- ・家事等の負担が少なく済むし、実家の美味しいご飯が食べられる（一人暮らしをしている人たちは

食生活がヤバくなりがち)。

・とにかく安く済む。私の場合、1ヶ月3万円の定期(しかも大学に行かない時期は必要ない)で通学できるので、人にもよりますが奨学金を一切もらわなくて済みます。宿舎やアパートに住む場合、家賃だけでそれ以上の金額になってしまうので明らかにこちらの方が安いです。

・東京の方から通う場合は、筑波住みの人たちより東京に行きやすい(筑波住みの人は秋葉原まで行くのに往復で2000円以上かかる)

## 宅通のデメリット

・大学の友人との関わりが薄くなりがち。あくまで比較的ですが、関係を深めたりするのが得意でない人には、特に難しいかもしれません。

・定期がないと大学に行きづらく、長期休み中のサークル活動に参加しづらい

・筑波大学のイベントに参加しづらい。例えばスポデーは授業のない日のイベントで、私の所属するサークルも関係していないため、ちょっと興味があってもなかなか足が向かない……(加えてそれなりに早く終わってしまうので、朝が弱くて午後1時とかに起きるような人は起きた時点で参加できないことが確定する)

・筑波の店などの話をされてもわからず、会話に入っていきづらい

・1限や2限が筑波住みの人に比べて辛い

・先輩や友達との関係が薄くなりがちなため、過去問等も手に入りづらい環境にあると思う。

## 宅通が知っておくべきこと

・自転車は必須。1・2年生の必修の科目だけバスで通えば良いと考えている人もいるかもしれませんが、筑波大学のバスは20分遅れが普通とか言われているので当てになりません……。また、自分の入りたいサークルが本学にあるのであれば自転車は3~4年間使い続けることになると思います。加えて、2年生以降で他の学類の授業を受けたい場合も、ここ最近はオンラインの授業が少なくなってきてしまっているので、本学まで行く必要が出てきます。いずれにせよ、思いの外本学に行くことは多い印象です。

・大学での友人はできる限り作った方が良いでしょう。地元の友達がいれば良いじゃんと思う人もいますが、絶対大学に友達がいた方が大学生活が楽しくなります。それだけでなく、過去問が流れてきたり、わからないところを教えてもらったりと、授業等でも助け合うことができます。また、さまざまなバックグラウンドを持っている人がいるので、ただ話をするだけでも面白いと思います。

## かすがらいふ編集委員より

この冊子を読んでもらっている皆さん、改めまして、こんにちは。きっと大学生活はどのようなのだろうかと想像していることでしょうか。そんな皆さんのために、私たちが大切なこと、知っておくと嬉しいものなどを少しのユーモアと共にこのかすがらいふを作成しました。道しるべ、あるいは入門書、説明書みたいなものになっていれば嬉しいです。新しい未来を作り上げる「フロントランナー」として、また「知識スペシャリスト」として、共に春日地区を盛り上げていきましょう！

# かすがらいふ SPRING 2024

情報メディア創成学類 | 知識情報・図書館学類

発行

情報メディア創成学類長

知識情報・図書館学類長

作成

春日地区クラス代表者会議

かすがらいふ作成委員会

ご協力

図書館情報エリア支援室の職員の皆様

寄稿して下さった学生の皆様

印刷

朝日印刷株式会社

